

必見!
最新情報

アコアラン/ノイアート 先天性アンチトロンビン欠乏症 WEB 講演会

日時：2021年3月12日(金) 19:00～20:00

コメンテーター

森下 英理子 先生 (金沢大学大学院医学系研究科病態検査学 教授)

家子 正裕 先生 (岩手県立中部病院 臨床検査科・血液内科 臨床検査科長)

講演1 (15分)

「先天性アンチトロンビン欠乏症 合併妊娠の管理指針案」

演者 森川 守 先生 (北海道大学大学院医学研究院 専門医学系部門
生殖・発達医学分野 産婦人科学教室 准教授)

講演2 (30分)

「遺伝性血栓性素因患者の 妊娠分娩管理に関して」

演者 小林 隆夫 先生 (浜松医療センター 名誉院長)

総合討論 / 質疑応答 (15分)

森下 英理子 先生 (金沢大学大学院医学系研究科病態検査学 教授)

家子 正裕 先生 (岩手県立中部病院 臨床検査科・血液内科 臨床検査科長)

森川 守 先生 (北海道大学大学院医学研究院 専門医学系部門 生殖・発達医学分野 産婦人科学教室 准教授)

小林 隆夫 先生 (浜松医療センター 名誉院長)

(順不同)

本講演会で聞きたい事など事前にご質問を受付しています

視聴方法

下記の URL もしくは QR コードから視聴できます。

<https://www.jbpo.or.jp/med/seminar/2020/detail15.php>

主催：一般社団法人 日本血液製剤機構



【講演概要】

講演 1 北海道大学大学院医学研究院 専門医学系部門 生殖・発達医学分野 産婦人科学教室 准教授 森川 守 先生

「先天性アンチトロンビン欠損症合併妊娠の管理指針案」

森川 守¹、家子 正裕^{2,3}

1. 北海道大学病院 産科・周産母子センター
2. 北海道医療大学大学院 歯学研究所 内科学
3. 北海道大学病院 血液内科

今回、先天性アンチトロンビン欠損症 (CAD) 合併妊娠において効率よく血栓塞栓症 (VTE) 発症を回避するための管理指針案を提示することを目的に研究を行った。管理指針案では、VTE 発症ハイリスク群では、妊娠期間中～分娩後までアンチトロンビン (AT) 製剤の補充 + ヘパリン療法を、同ローリスク群では、妊娠期間中はヘパリン療法のみで、分娩直前～分娩後まで AT 製剤の補充 + ヘパリン療法を施行する。10 例の CAD 合併妊娠のうち、I 型で前回分娩後に VTE 発症の既往がある 1 名がハイリスク群、残りの 9 名がローリスク群として管理された。妊娠期間中～分娩後に VTE を発症したのは、VTE 発症まで CAD が未診断未治療で妊娠 9 週に発症した II 型の 1 名のみであった。CAD 合併妊娠 10 名の分娩前後での D-dimer 値は正常妊婦 100 名の選択的帝王切開前後での値と同程度であった。提示した CAD 合併妊娠管理指針案は有用であった。

講演 2 浜松医療センター 名誉院長 小林 隆夫 先生

「遺伝性血栓性素因患者の妊娠分娩管理に関して」

遺伝性血栓性素因患者の周産期管理としては、妊娠中の抗凝固療法は血栓性素因ごとに考慮するが、予防量の未分画ヘパリン (以下、ヘパリン) 投与 (10,000 単位 / 日) を行う。アンチトロンビン (AT) 欠乏症はヘパリンに加えて AT 製剤の補充を考慮する。分娩時までヘパリンを使用していた妊婦では、陣痛発来以降は一旦ヘパリン投与を中止し、分娩後に止血を確認したら早期にヘパリン投与を再開、その後、ワルファリンに切り替える。AT 欠乏症妊婦では、基本的なヘパリン投与に加え、分娩時には AT 活性が少なくとも 70% になるように AT 製剤を補充する。AT の補充は、補充前の活性値および補充後の活性値から至適な補充量を判断するが、通常、濃縮製剤の場合は 1 回 1,000 単位 ~1,500 単位の投与量を基本とし、活性値の減少程度に応じて毎週の投与回数を決定する。なお、遺伝子組換え製剤の場合は、濃縮製剤の 1.2 倍の用量を投与する。

当日まで多くのご質問をお待ちしています

事前 質問方法

事前質問は前日 17 時まで受付しています

<https://www.jbpo.or.jp/med/seminar/q0312/> にアクセス



WEB 講演会
事前質問受付 画面

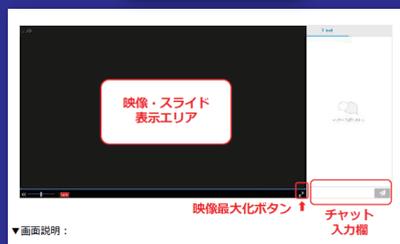
必要事項を入力後、**登録 ▶ 送信** で完了します。

※「所属診療科」と「ご質問内容」以外の情報は
開示しません

当日 質問方法

当日は WEB 講演会中にチャットにて受付します。

視聴画面



チャット欄への書き込みは演者・座長側のみに表示
され、他の視聴者へは表示されません。

当日視聴方法



<https://www.jbpo.or.jp/med/seminar/2020/detail15.php>
からアクセス

ご施設名、ご所属診療科、ご氏名を入力

視聴画面

【視聴推奨環境】

●PC でご視聴の場合の推奨ブラウザ

- ・ Microsoft
- ・ Firefox
- ・ EdgeInternet Explorer
- ・ Safari

●スマートフォンや iPad 等でご視聴の場合の
推奨ブラウザ

- ・ Safari
- ・ Chrome

動作環境 は下記 Web サイトをご参照ください。

https://jp.vcube.com/support/requirements/req_seminar.html

事前視聴確認や当日の視聴に関して、技術的なトラブルや
ご不明な点などがございましたら、こちらまでご連絡ください。

(サポートデスク番号)

03-6364-6479